

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷養護学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～まっちゃんの今月のつぎやき～ 「ここにいれば大丈夫 この人といれば安心」

私たちを取り巻く世界は、日々、変化に囲まれていて、「昨日の安心」が「今日の不安」になることも、しばしばです。

心の中のモヤモヤやイライラを言葉に置き替えられる私たちでさえ、悩んだり逃げ出したりしたくなる時があるのですから、今の自分の状態を **言葉で伝えられない子どもたちの場合、それが「行動」として現れる** のは、よくあることです。

何が気に入らなくて泣いているのか、何が原因で怒っているのか、あるいは時として暴れてしまうのか。まずはその前に何が起こっていたのか、その子の背景に思いを巡らせることをします。原因が特定できれば、その対処方法が見えてきます。でも、時にわかるまでに時間がかかるかもしれません。

まず、**ここにいれば大丈夫、この人といれば安心**をつくりましょう。そんな環境が用意されていると、その悲しさや怒りを和らげることができます。それだけでも子どもの行動が変わる場面に私も何度か出会ってきました。

子どもに限らず大人も、新しい環境や慣れない場は不安になりますし、その時々で自分の置かれている環境の感触を探りながら生活しているようなところがあります。

学校でも、社会に出てからも、そこに**自分の居場所があって認めてくれる人がいる**という土台の上に、新たな学びが積み重なっていくのではないかと考えています。

自分はここにいてもいいんだと思えること。そして自分を認めてくれる仲間がいること。 そんな居場所を少しでも用意できたらいいなあ、と思うのでした。

※参考資料：『教室マルトリートメント』（川上康則著 東洋館出版社）←おすすめ

「令和4年度 夏季教材教具展示&相談会」報告

この夏も多くの方にご来場いただきました。(保護者8名 小学校教職員 38名
中学校教職員 5名 特別支援学校教職員 16名 福祉関係者 9名 所属不明 6名)
アンケートでいただきましたご意見、ご感想は今後の運営の参考にさせていただきます。
皆さま、ありがとうございました。

～アンケートから（抜粋）～

【日頃の教材研究、教材づくりで悩んでいること】

- 放課後も校務のため教材づくりに時間をかけられない。
- 教材作成の時間がとれず、プリント学習に頼ってしまう。
- こういうのが欲しいなと思っても時間がない、どのように作ればいいのか悩む。
- 次のステップに進みたいと思っても、どんな教材が適切なかわからない。

【感想・ご意見】

- 教材もですが、お話をさせていただき、まだまだ勉強不足だと感じました。教材を参考にし、周りと協力しながら少しずつ作ってみます。支援級だけでなく一般級の子どもたちにも使えそうなものがあり、これも真似をさせていただきます。
- 基本に戻ろうと感じました。教材と子どもたちへの想いが伝わってきました。
- 教材のことだけでなく、指導の方法なども丁寧に教えていただき、とても勉強になりました。
- 太田ステージごとにまとめてある表がとてもわかりやすく、すばらしかった。今できていることから次のステップへ何を取り組んでいくといいのかを考える時に、とても参考になると思います。
- 教材展示室が使いやすく整理されていてよかった。

教材展示室は常設でいつでも見学可能です。お申し込みは 045-302-5374 連携支援室まで